

2016 年度第 1 回 日本学連幹事会 資料

開催日時：2016 年（平成 28 年）6 月 4 日（土） 14:30~19:00

開催会場：群馬県渋川市 伊香保公民館

議題

1. 方針について
2. 学連発足 35 周年に向けて
3. 規約改正
4. 事務局について
5. テレイン利用の申請と報告について 資料 1
6. 地図会計について 資料 2,3
7. 新機軸事業について
8. インカレ一般クラスのすみわけについて
9. 目安箱について
10. 加盟校の基準について
11. 秋インカレについての意見募集
12. 技術委員会の今後について 資料 4
13. 後援大会申請
14. 昨年度決算報告 資料 5
15. 理事会報告
16. 各部局活動報告
17. 地区学連活動報告
18. 日本学連と JOA の関係について
19. 次回幹事会について

大会渉外報告書

年 月 日

日本学生オリエンテーリング連盟

事務局長 様

事業名	
主催団体	
開催日時	
開催場所	
開催規模	
後援団体	※差し支えなければお願い致します。
協賛団体	※差し支えなければお願い致します。
渉外体制	(何人で活動をしていたか、等)

○主な渉外活動

箇条書きで主な役割について記載してください。

(例)

- ・地元渉外(役場・地区長・地権者)
- ・後援申請(学連・県協会)
- ・協賛依頼

等々

○活動内容

何か月前にどのような仕事をしたのか、といった記載をしてください(なるべく細かくお願いします)。

(例)

6 か月前…大会責任者と市役所に訪問、オリエンテーリングについての説明と大会を行う旨を説明

日本学連に後援申請書を送付

3 か月前…会場の予約、資材の利用申請など

2 週間前…トレイン内にある民家に訪問、大会当日に人が通る可能性があることを説明

終了後…お世話になった役場の人や地区長に、お礼の手紙や電話をした

等々

○渉外活動をするうえで気を付けたこと

地権者を調べる方法から話し方まで、色々と工夫したことを自由に記載してください。

○反省点・気を付ける点

渉外問題が起きそうになった or このままいったら起きかねなかった、等の問題が生じた場合、どういう問題が起きたのか、その時の対応、起こさないためにどうするべきか、等を記載してください。

大会渉外報告書フォーマット

○アドバイス

何かありましたら、最後をお願いします。

※こちらの報告書は、日本学連に後援申請をした団体に、大会開催後に提出してもらいます。これらを少しずつためていき、学連に各団体の渉外のノウハウを集める、ということが目的となっており、場合によってはネットに掲載する可能性もあります。後援団体や協賛団体の名称は載せても構わない場合はそのまま書いてほしいですが、場合によっては名称を載せない、もしくは名称を直接書かずに、A 団体(〇〇団体)、B 社(××事業)のように書いていただくと幸いです。

※報告書の提出は、大会開催から一か月～二か月を目処にお願い致します。

次回幹事会の議題に、「地図会計について」の議題をあげております。
ここで、以前の幹事会で話題にあがった、2015年度のミドルセレの
会計について事後報告をお願いしたいと考えております。
内容としましては、「全ての費用について地図会計に拠って行った場合の
計画書・見積書を作成し、幹事会の場で説明する」ということについてお願いします
計画書は1/30に地図つきで提出済み

すべてを地図会計によって行った場合の費用見積もり(当時出したものを合算したもの)

大改定が必要なエリア	66ヘクタール	単価4500円	297000
植生のチェック程度	2日分	単価33333円	66666
小計			363666

支出			
地図会計から			200000
大会会計から			163666
小計			363666

大会会計を赤字圧迫することにはならなかった。

前文

年々の代替わりがあり、非営利組織で純な競技スポーツ団体を継続可能するため（特に組織内の最高峰の大会である）インカレをわが国のオリエンテーリング界至高の大会として継続して行く為の裏支え構造を規定する3本柱の規約。今の学連の会計規模・事業規模ですべてを学生や若いOBのボランティアな活力で運営できるものではない。どの種目の学生団体でも多かれ少なかれそうであるが、決まったプロ業者の参画がある。また、逆にプロ業者がすべてを取り仕切れるわけではない。（特に他種目状態になってからはそうである。）あくまでも、学生の自治団体であるという理念を至高のものとし、どのように自治運営とプロ業者が協働するのが良いのか、その理想を追求しながらやっていきたい。

その上でプロ業者が関わる大きなファクターは、地図（作成技術も高品質な印刷技術も）涉外（地元との継続的關係）、事務局（場所）、資材（管理・運搬）であると考える。

1. 日本学連の地図の運用に関する規約 H26.3.10 制定

いわゆる新機軸事業、経年変化による改定、予算規模で3段階、参入条件（YMOEでなくても参入できる）

2. 業務委託管理契約 1. の制定後続行して議論開始、現状の販売・管理形態を規約化することが主眼、学連の地図版権の一括管理（販売代行）とインカレなど学連行事の印刷調製提供の指定管理業者指名、おまけとして、アドバイザーではカバー仕切れない、OCADや印刷面での質を確保するためのアドバイス、今斉藤理事と詰めの作業中、次の総会では決議したい

3. 事務局および涉外・資材に関する事（内容はH28.3.14 幹事会・総会で説明、金額は1年限定で承認（適当な名称はまだ未定）理事会持ち帰りで案文化

すみません、幹事会直前の入院でこの資料充実できなかった

<未整備事項>

インカレ開催決定までの流れの整備

発議する人（結局ここはプロ業者）から正式決定までの流れ<及びテレインコントロールに関する事>

1、学連合宿の開催

昨年度は2月に矢板で学連合宿を行いました。
今年度も学連合宿を行っていきたいですが現状未定です。

講習会などはおそらく開催されない見通しです。

2、会計報告

第1回 学連合宿 16800 円
インカレアドバイザー交通費 94640 円

3、WUOC2016 について

2016年7月30日～8月4日までハンガリーでWUOC(世界学生オリエンテーリング選手権)が開催されます。皆さん応援よろしくお願いします。

4、技術委員会について

- ・学連合宿の開催(各地区持ち回り)
- ・シード選手の推薦 (技術委員全員)
- ・WUOC への選手の派遣(技術委員長)
- ・インカレなどの規約の改正(技術委員長)

などの活動があるが、現状加盟校から1名というのも昨年度はほとんど加入せず、(北信越と北東のみ)

実際に積極的に動いてくれる人がほとんどいなかったため昨年度は学連合宿 0 回になる寸前でした。やはり技術委員会をもっとうまく回していくために仕組み作りから学生の皆さんも一緒にというか積極的にかかわってほしいと思います。

単位：¥

収入項目	単価	数量	金額	予算
加盟金				
個人(単価2000円)	2,000		2,487,400	2,400,000
加盟校(単価4000円)	4,000	33	132,000	128,000
準加盟校(単価1000円)	1,000	17	17,000	19,000
賛助金				
2015年度賛助金			91,000	100,000
事業収入				
2014年度ICM&R貸付金			1,500,000	1,500,000
2014年度ICM&R黒字返金			1,359,195	500,000
2015年度ICS&L貸付金			500,000	
2015年度ICS&L黒字返金			62,260	
地図関係				
地図収入			2,600,600	
その他				
関東学連から家賃として			50,000	50,000
ファミテックからの寄付			110,800	
利息			1,109	1,000
謎の黒字			340	
	小計		8,911,704	5,398,000

- ※1. 予算としては計上していなかったが、実行委員会側から要望があったため運営資金として50万円を貸し付けた。
- ※2. ユニバーは2年に1度であり、2年に1度まとめて30万円を支出するが、計算上は、1年に15万円を予算として計上することとなる。
なお2015年度はユニバーの年ではなかったため支出なし。
- ※3. 活動報告書作成費は毎年25万円を予算として計上。
ただし、発行は2年に1度なので、2年に1度50万円を支出している。
活動報告書も、2015年度は発行年度ではなかったため支出なし。
- ※4. 家賃は12か月分+更新料1月分の合計13か月分。
平成28年度から支出の仕方が変わるため、この支払い方法をとるのは2015年度まで。
- ※5. 2016年度に入ってから清算した2015年度分の支出に関する手数料も含む。

幹事長	会計監査	会計監査

単位：¥

支出項目	詳細	金額	予算
インカレ関係			
2015年度ICS&L貸付金(※1)		500,000	
2015年度ICM&R貸付金		1,500,000	1,500,000
インカレスプリントロフィー代		69,120	
2016年度インカレミドル・トレインハント費用		500,000	
部局活動費			
広報部		0	10,000
事業部		199,985	200,000
事務局		39,330	50,000
普及部		0	10,000
理事会	理事会会場費	37,800	
	インカレの際の河合会長の交通費	35,080	100,000
	インカレの際の理事の宿泊費・弁当代	62,450	
	裁定委員用地図	5,000	
渉外部	渉外部長向け	43,257	100,000
	山川さん向け	68,980	
技術委員会関係			
技術委員会	技術委員会昨年度未清算分	0	60,000
インカレアドバイザ派遣		94,640	160,000
学連合宿補助(3万円×4)		16,800	120,000
講習会補助(1万円×3)		0	30,000
ユニバー補助(※2)	オフィシャル補助など	0	150,000
幹事会関係			
印刷費	活動報告書作成費(※3)	0	250,000
幹事役員活動費	幹事会交通費	1,202,615	650,000
	幹事会宿泊費	434,400	450,000
総会	幹事会会場使用料	7,830	50,000
役員活動費	資料印刷代	2,000	50,000
	その他(モデム郵送費)	620	
事務局維持費			
事務局維持費	家賃(※4)(単価50000円)	650,000	650,000
	光熱費	8,644	35,000
	電話代	52,353	55,000
地図関係			
地図作成費	塩谷田所	1,600,000	
地図修正費	矢板トレイン	200,000	
	日光トレイン	200,000	
その他支出			
JOA関係	年会費	100,000	100,000
	保険金	3,000	0
地区学連への賛助金フィードバック		21,000	20,000
ファミテックのインカレ広告費		20,000	20,000
手数料(※5)		4,536	6,000
予備費		0	572,000
	小計	7,679,440	5,398,000

2015年度の収支 ¥1,232,264の黒字